

井手俊郎（いでとしろう）

～「青い山脈」の脚本家～

明治43年4月11日に北波多村徳須恵で生まれる。生家（山口酒屋の裏で原和志所有）は現存している。

一時期、現佐賀銀行徳須恵店に在った家に住んでいたこともある。

- ・北波多小学校卒業（大正11年）
- ・旧制唐津中学卒業（昭和3年）、現在の県立唐津東高校。
- ・旧官立東京高等工芸学校工芸図科卒業、現在の国立千葉大学工学部意匠科。

卒業後、フリーで雑誌の表紙画などを画いていたが、若手の映画プロデューサーとして令名のあった藤本真澄氏（後、東宝専務）の知遇を得て東宝に入社。

各地に東宝の初期の直営館の設立に当たった。

博多の東宝直営館の支配人など歴任。

昭和19年8月に久留米48連隊に入隊し、司令部情報班に所属。

昭和20年9月復員。

兵隊時代については、佐賀大学名誉教授筒井茂雄氏の書かれた新聞記事「井手俊郎の死」（佐賀新聞昭和63年7月22日）有。

戦後、東京に戻り東宝に復帰。昭和23年頃、ピンチヒッターとして書いた「青い山脈」が意外に評判になり、以後シナリオライターとして身を立てた。

分野 人物

地域 北波多

◎地図・写真・統計資料など



井手 俊郎
(1910～1988)

◎引用・参考文献（出典）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html